

令和元年度 第2回評議員会 議事録

- [1] 日 時： 令和元年10月15日(水) 午後6時45分～午後7時30分
- [2] 場 所： 東京都新宿区内藤町11番4 東京都立新宿高等学校 保護者控室
- [3] 出席者： 理事総数 10名(定足数6名)
- (1) 出席者 評議員 8名 内海秀一、小峰和則、佐藤由紀夫、柴田眞樹、
長江千亜紀、白塚洋子、岩崎洋平、鈴木仁志
- 理事 1名 代表理事 田中俊郎
- (2) 同席者 事務局 1名 吉村 悟
- [4] 議 案
- 館山寮男子棟修復の件
- [5] 審議経過及び審議結果
- (1) 出席議員の互選により鈴木仁志が議長となり、評議員会の開会を宣言する。
- (2) 第1号議案を別紙により提案、事務局吉村から説明した。

主な質疑と意見

- ・新宿高校伝統行事の臨海教室の実施が出来るように、同窓会の総意をもって館山寮再建の当たらなくてはいけない。
- ・再建できない時の他のプランを考えておくべきであろう。

詳細の検討については事務局に一任することで、議長が裁決を取った結果、満場一致で可決承認した。

午後7時30分、議長が閉会を宣言。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席評議員が次に記名押印する。

以上

令和元年 10 月 15 日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会 評議員会

議長	評議員	鈴木 仁 志	印
	代表理事	田 中 俊 郎	印
	評議員	内 海 秀 一	印
	評議員	小 峰 和 則	印
	評議員	内 海 秀 一	印
	評議員	佐 藤 由 紀 夫	印
	評議員	柴 田 眞 樹	印
	評議員	長 江 千 亜 紀	印
	評議員	白 塚 洋 子	印
	評議員	岩 崎 洋 平	印

令和元年度 第3回理事会

令和元年度 第2回評議員会

令和元年 10月 15日(火)

一般財団法人 東京都立新宿高等学校 朝陽会

第1号議案 館山寮男子棟修復の件

1. 経緯と現況

- ・去る9日8日(日)夜から9月9日(月)未明にかけて襲来した台風15号により、館山寮男子棟は屋根がすべて飛ぶなど甚大な被害を受けた。9月10日(火)に現地入りした寺澤業務執行理事によると男子棟以外の被害は軽微で、他所の家屋などへの影響もなかったとのことである。
- ・現在は朝陽水泳会などのボランティアの協力により、後片付けも進行している。
- ・また修復に向けて朝陽同窓会と母校側、及び保護者との協力体制も整いつつある。
- ・しかしまだ修復費用の見積もりができない状態であり、保険金支払金額も未定である。

2. 提案

- ・館山寮における新宿高校の臨海教室開催は、およそ100年の伝統を有する意義のある大きな教育行事である。
- ・歴代の母校校長もこぞってその意義を認めており、また卒業式に於ける卒業生の答辞においても毎回「館山寮での経験のお蔭で真の新宿高校生となれた」と言っているほどである。
- ・従って今回の台風の被害などで臨海教室を中止することは忍ない。よって母校・保護者・朝陽同窓会が共に手を携え、来年の臨海教室が無事開催できるよう館山寮男子棟を修復することを提案する。
- ・但し残念ながら財団法人朝陽会は資金の余裕がないので、PTAと朝陽同窓会に寄付を要請することしたい。
- ・また財団理事会内に修復実行委員会を編成し、被害状況の確認、修復計画の立案、保険会社との交渉、工務店の選定などについて、事務局を支援することを提案する。

3. 今後の日程

- ・来年度の臨海教室実施を考えると修復の完了は遅くとも6月初旬となる。
- ・まだまだ不安定要素が多いが、概略以下の通り

今年	10月	財団法人理事会開催、朝陽同窓会代表幹事会開催
	11月	募金を朝陽同窓会会員、および保護者に対して要請
	12月	修復工事依頼先決定、見積書受領
明年	1月	財団法人理事会開催、修復工事発注
	2月	朝陽同窓会寄付額決定
	6月	修復工事完了、工事費支払
	7月	臨海教室開催。一般宿泊受付

4. リスク

- ・修復までには幾つかの懸念すべき点があり、知恵を絞って克服して行かなければならない。
 - 工事費の高騰などにより、資金が不足する
 - 工務店が忙しく、工期が伸びる、など

以上